# 平成 30 年度上期認定分　ましこ世間遺産一覧

| No. | 世間遺産の名称 | 申請団体 | 場所 |
|---|---|---|---|
| 21 | 長堤八幡宮太々神楽（ながつつみはちまんぐうだいだいかぐら） | 長堤太々神楽保存会 | 大字長堤 |
| 22 | 十二天真言八祖絵図（じゅうにてんしんごんはっそえず） | 東田井自治会 | 大字東田井 |
| 23 | 倉見沢古代窯跡（くらみざわこだいがまあと） | 三登谷会（みつどや） | 大字上大羽 |
| 24 | 薬師堂（やくしどう） | 下大羽宿組（しゅくぐみ） | 大字下大羽 |
| 25 | 益子陶器傳習所（ましことうきでんしゅうじょ） | 内町町内会 | 大字益子 |
| 26 | 春日神社（かすがじんじゃ） | 塙若組 | 大字塙 |
| 27 | 芦沼獅子舞（あしぬまししまい） | 芦沼獅子舞保存会 | 大字芦沼 |

## 認定No.21　長堤八幡宮

### 太々神楽（だいだいかぐら）

**＜天狐白狐の舞＞**

申請団体　長堤太々神楽保存会

明治 11 年（1878 年）頃から、旧田野村地区内の長堤八幡神社境内（けいだい）にある神楽殿（かぐらでん）において、毎年９月 15 日に奉納（ほうのう）されていたが、平成 17 年（2005 年）以降は、10 月の第１日曜日に奉納している。真岡の大前（おおさき）神社の太々神楽を習得、八幡神社での神事終了後に神楽の上演が行われる。演目は、五行の舞、天（てん）狐（こ）白（びゃっこ）狐の舞、猿田彦（さるたひこ）の舞、事代（ことしろ）の舞、鬼女の舞などである。

一時期、個々の事情のため踊りを続けられる者が少なくなったが、数年前から新たな後継者も見つかり、将来に向けた伝承の機運も高まってきた。

◇住所…益子町長堤９１４（長堤八幡宮）

◇駐車場…同上

◇注意事項…参道が狭いのでご注意ください。

**＜五行の舞＞**

**＜長堤八幡宮＞**

◇問合せ先…益子町中央公民館
（0285-72-3101）
（８時３０分～１７時１５分、月曜休館）

## 認定№22　十二天真言八祖絵図

申請団体　東田井自治会

東田井自治会が所有している、室町時代末期から江戸時代初期に制作されたと伝わる作者不詳の仏画（ぶつが）である。十二天絵図と真言八祖絵図があり、十二天絵図は縦 76 ㎝、横 32 ㎝、布地 12幅（ふく）、真言八祖絵図は縦 68 ㎝、横 37 ㎝、布地 8 幅である。蓮（はす）の糸で織ったものとされており、箱書きにはそれぞれ宝永六己丑（つちのとうし）年（1709 年）と書かれている。

高館城（たかだてじょう）が落城した際、東田井の東光寺に、守り本尊の大切なものとして持ち込まれたと伝わっており、東光寺が廃寺になったあと、自治会の所有となっている。平成６年（1994 年）、表装の修理をきっかけに中央公民館で保管するようになった。

なお、毎年８月の第１日曜日に東田井の鹿島神社で虫干しを行っているため、見ることができる。

◇住所…益子町東田井２３８

（町営東田井住宅付近）

（※ナビで表示されない可能性あり）

◇駐車場…同上

**＜真言八祖絵図（空海）＞**

**＜十二天絵図（帝釈天）＞**

**＜東田井鹿島神社＞**

◇問合せ先…益子町中央公民館

（0285-72-3101）

（８時３０分～１７時１５分、月曜休館）

## 認定№23　倉見沢古代窯跡

＜倉見沢古代窯跡＞

申請団体　三登谷会

大羽川の支流である栗生川によって開かれた谷沿いに分布している栗生窯跡群の南端にある古代登り窯跡で、窯体は全長約 7.3mの半地下式無階無段登窯（穴窯）で、幅は焚口部 1.1m、燃焼部 1～1.3m、焼成部の最大幅は 1.6mであった。ステ場は窯体の南下方の斜面にあり、南北約 10m、東西約 13mの広範囲にわたり、堆積も 1mほどで、操業の規模が比較的大きかったことがわかる。

出土遺物はステ場からのものが主体で、須恵器の杯、高台杯、蓋、盤、筒形容器、捏鉢、甕、壺、土錘などであり、９世紀代には窯の操業が行われていた。

◇住所…益子町上大羽２４９９－３

（※ナビで表示されない可能性あり）

◇駐車場…栗生公民館（益子町上大羽１９１７）

◇注意事項…山林の中にあります。駐車場から約１５分程度かかりますので、動きやすい服装、靴でお越しください。雨の日等は足元が滑るため要注意です。

＜栗生公民館入口＞

＜栗生公民館＞

① ＜倉見沢古代窯跡入口＞
（栗生公民館から南の方角）

② ＜倉見沢古代窯跡へ＞

③ ＜倉見沢古代窯跡へ＞

④ ＜倉見沢古代窯跡＞

◇問合せ先…益子町中央公民館
（0285-72-3101）
（８時３０分～１７時１５分、月曜休館）

## 認定№24　薬師堂

申請団体　下大羽宿組（しゅくぐみ）

**＜薬師堂＞**

この薬師堂は、昔から、病を治してくれるという薬師如来（やくしにょらい）を祀（まつ）って、下大羽宿組の約 40 戸で維持管理をしてきた。

現在でも毎年７月の第１日曜日に宿組が集まって、草刈りや掃除、花飾りなどをつくって化粧直しも行っており、薬師堂の祭礼「薬師さま」を実施している。以前は、薬師堂前の県道宇都宮笠間線のところで通行人に甘酒などをふるまったこともあった。

薬師如来は、普段は扉が閉まっていて見ることはできないが、毎年７月の第１日曜日には見ることができる。

◇住所…益子町下大羽２２８
（※ナビで表示されない可能性あり）

◇駐車場…道路を挟んだ反対側

◇注意事項…薬師堂は駐車場から道路を挟んだ反対側にありますので、交通事故に注意してください。

◇問合せ先…益子町中央公民館
（0285-72-3101）
（８時３０分～１７時１５分、月曜休館）

**＜駐車場へ＞**

**＜駐車場＞**
**（西に約 50m歩くと右手に薬師堂あり）**

## 認定№25 益子陶器傳習所

申請団体　内町町内会

**＜益子陶器傳習所＞**

益子焼の陶祖は、嘉永5 年（1852 年）、益子町内の根古屋に築窯した大塚啓三郎とされている。明治 36 年（1903 年）、益子陶器業組合の設立と同時に陶器職人を養成する益子陶器傳習所が開設され、組長大塚忠治（根古屋窯第２代目）の窯場を借り受け、彼を所長として製陶技術の教育が行われた。大塚家の現細工場は一階が石組のしっかりした建造物であり、二階にある大きな扉は屋根に出るためのもので、早く焼物を乾燥させたいときに屋根をつたって作品を置けるように造られた。明治 41 年度に陶器職人の実習を兼ねた陶器同業組合傳習所の模範工場として建設されたものと考えられる。

陶器傳習所は大正２年（1913 年）、町立になり城内地区に移転し、昭和 14 年（1939 年）に県立窯業指導所になった。

◇住所…益子町益子８６４

◇駐車場…同上

◇注意事項…建物の中を見学したい場合には、益子町中央公民館までご連絡ください。

**＜益子陶器傳習所（西側）＞**

◇問合せ先…益子町中央公民館
（0285-72-3101）
（８時３０分～１７時１５分、月曜休館）

## 認定№26　春日神社

申請団体　塙若組

**＜春日神社＞**

この神社は、小貝川上流右岸の田畑から台地に続く塙の大高山（おおだかやま）に置かれている。応永 15 年（1408 年）、塙城主 塙能登守（はなわのとのかみ）藤原利政（ふじわらとしまさ）が当社を再建（さいこん）し、塙郷の総鎮守社（そうちんじゅしゃ）とした。

平成 14 年（2002 年）から主要建物の改築並びに修繕と神域整備を含めた平成の大改修を行い、平成 17 年（2005 年）の例大祭の日にこの大改修記念顕彰碑除幕式を開催した。

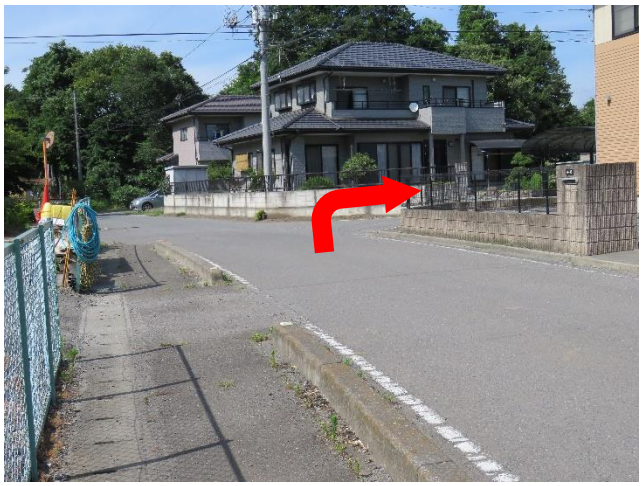
今では、例大祭、新嘗祭（にいなめさい）（塙若組による屋台運行）、二年参り、もちつき大会、節分祭などの行事を行っており、地域の人々が集まる神社となっている。

◇住所…益子町塙１３７０（春日神社）

◇駐車場…同上

◇問合せ先…益子町中央公民館
（0285-72-3101）
（８時３０分～１７時１５分、月曜休館）

**①　＜春日神社へ＞**



**②　＜春日神社へ＞**

## 認定№27　芦沼獅子舞

申請団体　芦沼獅子舞保存会

＜芦沼獅子舞＞

芦沼の獅子舞は、古くから農民の間に伝承されてきたものであり、五穀豊穣、村内安全、疫病退散、住民の親睦などを願って奉納されてきた。

戦後、一時期途絶えたこともあったが、昭和 47 年（1972 年）から地元の若者が中心となって復活、その後は途切れることなく伝承されている。

芦沼自治会の会員全員が構成員となり、芦沼獅子舞保存会をつくり、毎年８月の第１土曜日の一万度（いちまんど）という祭りで獅子舞を奉納している。

◇住所…益子町芦沼７００（芦沼公民館）

◇駐車場…益子町中央公民館までお問い合わせください。

◇問合せ先…益子町中央公民館
（0285-72-3101）
（８時３０分～１７時１５分、月曜休館）

＜芦沼獅子舞を奉納する高麗（たかお）神社境内＞

＜高麗（たかお）神社に向かう参道＞